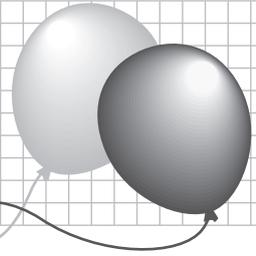


# 話題の広場



## 中央会事業より

### 第1回高齢化社会対応懇談会を開催

10月6日(木)、秋田市「秋田キャッスルホテル」において、「第1回高齢化社会対応懇談会」を開催しました。

当事業は、急速に進む高齢化社会の中で、昔ながらの“御用聞き”を新しいビジネスとして見直し、“買い物弱者”に対する買い物の利便性の向上や高齢者の生活の安全を守る等、地域ぐるみ或いは異業種の組合の連携により支えていく新たな複合型ビジネスの可能性を模索することを目的としています。

懇談会の前段では、講師の明治大学専門職大学院教授上原征彦氏から「高齢化社会に適応した複合型サービスの在り方について～連携による高齢者支援の方策～」をテーマに講演が行われました。

引き続き、出席者を交え、複合型ビジネスモデルの形を模索する上で、各業界組合で想定される販売・サービスの内容を中心に懇談を行い、有意義な意見交換が行われました。



【高齢者懇談会の様子】

### 第2回ポイントカード懇談会を開催!

10月18日(火)、秋田市「ホテルメトロポリタン秋田」において、「第2回ポイントカード懇談会」を開催しました。

懇談会の前段では、東北ジャイロ流通研究所小柳剛照所長から、「効果的なポイントカード事業の取り組みについて～一番の基本は個店のレベルアップ～」をテーマに講演が行われました。

引き続き行われた懇談では、県内のポイントカード組合の今後の事業の方向性や広域的連携の在り方について、参加者同士の活発な意見交換が行われました。



【ポイントカード懇談会の様子】

### ○県内ポイントカード先進事例紹介

『鹿角市と連携し「わくわく健康ポイント事業」を実施』

ハミングカード協同組合・コナンカード協同組合

鹿角市のハミングカード協同組合(星川由則理事長)及びコナンカード協同組合(黒沢光春理事長)では、鹿角市の「わくわく健康ポイント事業」と連携し、市が行っている各種検診の受診者や健康講座の参加者にポイントを付与する取り組みを実施しています。

ポイントの加算は、市へ端末を貸出し、健康講座等の各会場で行う他に、ポイント引換券により、加盟店で加算手続きができ、利用者の利便性の向上を図っています。

当事業開始から現在までの利用実績は、ハミングカードが4,000件、コナンカードが1,700件となっており、利用者の関心が非常に高いことが伺えます。



キララハミングカード(左)とコナンカード(右)



## ■地方自治体3市1町1村と災害協定を締結

【北鹿電気工事業協同組合】

北鹿電気工事業協同組合(川井隆治理事長)では、大館市、北秋田市、鹿角市、小坂町、上小阿仁村の3市1町1村と「災害時における電気設備等復旧応援に関する協定書」を締結しました。

災害時における電気設備等復旧の協定は、地震、風水害等により、当該自治体内で電気設備等の被害が発生した場合、円滑かつ迅速な応急電気供給及び応急復旧活動を行うことを目的としています。

協定の内容は以下のとおりです。

- ①被災状況の調査報告
- ②避難場所等での応急電気供給等に必要な人員の派遣
- ③被災を受けた電気設備等の応急復旧に必要な人員の派遣
- ④応急復旧に必要な車両、資機材及び物資等の提供
- ①～④の他、自治体が特に必要であると認める協力



協定を締結した川井理事長(右から2人目)と小畑大館市長(右)、西村専務理事(左から2人目)、藤原理事(左)

## ■全国まるごとうどんエキスポ in 秋田・湯沢を開催

【秋田県稲庭うどん協同組合・湯沢市4商店街】

10月1日(土)、2日(日)の2日間に亘り、湯沢市の大町商店街・柳町商店街・駅通り商店街・中央通り商店街を会場に、「全国まるごとうどんエキスポin秋田・湯沢」が開催されました。

当イベントは、秋田県稲庭うどん協同組合(佐藤正明理事長)をはじめ湯沢市4商店街がメンバーとして参加した「全国まるごとうどんEXPO実行委員会」が主催しました。

イベントの実施は、湯沢市が日本三大うどんの一つの「稲庭うどん」の地元であり、稲庭うどんのブランド力を活かして湯沢地域の経済的な活力増進を図るとともに、日本各地のうどん文化の活性化に繋げようと企画されました。

当日は、日本三銘うどんの「稲庭うどん(秋田県)」、「名古屋きしめん(愛知県)」、「讃岐うどん(香川県)」を含む、全国各地の全9銘品が一堂に会し、商店街が「まるごとうどん大通り」となりました。うどんを販売するブースでは、最長で2時間以上待つブースもあり、各販売ブースには、長蛇の列ができました。

また、「まるごとうどん大通り」の他、湯沢市の特産品や名物、地元農産加工品や工芸品を販売・展示した「まるごと湯沢ストリート」やお酒と路上パフォーマンスが楽しめる「湯沢良いところ、ほろ酔いまつり」、地元の飲食店が工夫した「オリジナルうどんメニューの販売」が行われるなど、会場は、大いに盛り上がりました。



【全国まるごとうどんエキスポの様子】

# 新会員紹介

## ■設計チームおおだて協同組合



島山理事長

【組合の紹介・PR】 建築設計・工事監理業務の安定的な受注確保には、官公需の受注が大きな柱となります。しかし、公共建築物等については主要ニーズの高度化に伴い、高い技術水準が必要な建物の発注が主流となり、我々小規模事業者に対しても高度な技術力が要求され、個々で対応することが難しくなっています。

また、建築設計等の発注については、工事規模に応じて複数名が参画した協同組織に工事発注を依頼する傾向が強くなってきています。

本組合は、官公需受注確保のため、事業協同組合により組織化を図り、公共事業等における受注体制を、より強力にするため設立しました。

◆住所	大館市川口字隼人岱68番地1
◆代表理事	島山 富美男
◆出資金	1,000,000円
◆組合員数	4名
◆主な事業	建築物の設計・工事監理の共同受注
◆成立年月日	平成23年9月20日

## ■秋田県柔道整復師協同組合



佐藤理事長

【組合の紹介・PR】 近年、医療技術の急速な進歩・発展に伴い、医療業務に対する国民の要請は多様化し、より高度かつ良質な医療を求める傾向にあります。

反面、同業種・他団体の会員や類似業種等との過当競争による施術所経営の圧迫、保険行政の改革等、当業界を取り巻く環境は甚だ厳しいものがあります。

このような現状の中で、時代に適応した近代的施術所経営を行うべく、最新の治療設備、自主的な研修に基づく良質な治療技術等の提供が、地域社会及び地域住民から求められています。

本組合は、社団法人秋田県柔道整復師会との連携により、会員への購買部門及びサービス部門に関する経済事業を実施し、事業協同組合が受け皿となり充実させることにより、会員の経営改善及び経済的地位の向上に資することを目的として設立しました。

◆住所	秋田市山王中島町3番1号
◆代表理事	佐藤 環
◆出資金	4,816,000円
◆組合員数	175名
◆主な事業	組合員の取り扱う資料資材及び消耗品の共同購買
◆成立年月日	平成23年10月13日

## ■毛馬内こもせ商店街協同組合



勝田理事長

【組合の紹介・PR】 私共は、これまでも、毛馬内BON通り商店会を組織し、各会員が相互に協力し合い各種イベントの開催、街の駅「こもせ」の運営、駐車場及び街路灯の維持管理等を行ってきました。また、全国的に近代化した画一的な商店街が増加した中で、市民の財産として「こもせ」の保存を続け、歴史的にも貴重な街並みを維持しています。

この度、鹿角市をはじめとした関係機関からの指導及び助成を受けながら、「こもせ」を修復し、貴重な街並みの保存を通じて地域コミュニティの担い手としての活動を強化していくためにも、地域商店街活性化法の認定

を目指し地域住民と一体となった取り組みを行うことに致しました。

今後、各種事業を、より効果的に展開し、魅力ある商店街を目指すには、これまで以上に強固な組織の構築が必要であることから、既存の商店会を法人化し事業協同組合を設立しました。

◆住所	鹿角市十和田毛馬内字毛馬内9番地
◆代表理事	勝田 士郎
◆出資金	170,000円
◆組合員数	23名
◆主な事業	商店街の整備に関する計画の策定及び調査研究事業
◆成立年月日	平成23年10月17日

### 【今月のキーワード】 『こもせ』とは？

「こもせ」は、鹿角の方言で、雁木(がんぎ)のことです。雁木は、現在の商店街等に設置されているアーケードのような構造物で、店舗の軒先が道路側に競り出ており、雪国では、雪よけとして、冬に雪の心配をせずに入々が通れるように店舗に建築されていました。

秋田県では、鹿角市毛馬内の「毛馬内こもせ商店街」や花輪の「関善こもせ」が保存されています。

# 支援団体活動レポート

## 平成23年度第1回官公需対策懇談会を開催 ～秋田県官公需受注対策協議会～

9月28日(水)、秋田県官公需受注対策協議会(加藤憲成会長)の「平成23年度第1回官公需対策懇談会」が、本会との共催により、秋田市「アキタパークホテル」において、開催されました。

懇談会では、発注者側からの情報提供として、県担当者から「平成23年度の秋田県の官公需の発注状況について」の説明があり、その後、意見交換に入りました。

意見交換では、県や市町村発注機関に対する要望が協議され、今後、本懇談会で出された要望事項について、本会との連名で県や市町村に対し要望活動を行うことが決定されました。



【懇談会の様子】

## 中野節秋田県副知事による講習会を開催 ～秋田県中小企業青年中央会～

10月12日(水)、秋田県中小企業青年中央会(進藤政弘会長)の、「中野節秋田県副知事による講習会」が秋田市「ホテルメトロポリタン秋田」において開催されました。

講習会では、中野節秋田県副知事を講師に、「秋田県産業の現状と活性化に向けての提言」をテーマとした講話が行われました。中野節秋田県副知事は、「秋田県を高齢化先進県として産業・社会構造の変革(秋田モデル)を目指す。そのため、農業、自然、勤勉を基盤とする持続可能な地域社会へ挑戦していく必要があり、民間の活力が重要である。」と話され、出席者一同熱心に聴講しました。

その後、意見交換が行われ、活発な協議が行われました。



【講習会の様子】

## 第28回東北・北海道ブロック中小企業組合士協議会研修交流会を開催 ～秋田県中小企業組合士会～



【開催県挨拶：堀川会長】

10月14日(金)、仙北市の「たざわこ芸術村」において、「第28回東北・北海道ブロック中小企業組合士協議会研修交流会」が開催されました。今回は、秋田県が幹事県として開催し、秋田県の組合士22名を含む、東北・北海道から63名の組合士の会員が参加しました。

研修交流会は、わらび座劇場での観劇に引き続き、株式会社わらび座代表取締役小島克昭氏から「地域活性化と地域に根ざした組織活動とは～創立60周年を迎えて～」をテーマとした基調講演が行われました。

研修交流会終了後は、懇親会が行われ、わらび座による「秋田音頭」のアトラクションが登場するなど、終始和やかな雰囲気の中で会員同士の交流が深められました。



【研修交流会の様子】

## 「夫婦あきたこまちご飯茶碗」が本会会長賞を受賞

10月7日(金)、第31回秋田県特産品開発コンクール表彰式が秋田市の「アトリオン」で行われ、湯沢市の加藤實漆器店(加藤幸男代表)の「夫婦あきたこまちご飯茶碗」が奨励賞(秋田県中小企業団体中央会会長賞)を受賞しました。

本商品は、狂いが生じやすい柎の木を薄焼きにし、花塗でも一番美しい本溜塗で内側を朱、黒に仕上げました。

お買い求めは、アトリオン地下1階「あきた県産品プラザ(株式会社秋田県物産振興会)」で購入できます。(8,400円(税込))

【お問い合わせ先】

加藤實漆器店 〒012-0105 湯沢市川連町字大館下村43-1 ☎0183-42-4473  
ホームページ <http://www.urushi-kato.com/>



【本会会長賞：夫婦あきたこまちご飯茶碗】

## あきた農商工応援ファンド事業対象事業者の募集について

(財)あきた企業活性化センターでは、中小企業者と農林漁業者等が一体となり、互いに有するノウハウや技術を活用し、県産農林水産物を核とした新商品開発やその販路開拓などの取組を支援し、地域の活性化を図るため、「あきた農商工応援ファンド事業」の対象事業者を募集します。

### ○補助対象事業

#### ①農商工連携支援事業

中小企業者と農林漁業者の連携体による新商品開発、販路開拓に助成します。

#### ②農商工連携応援団体支援事業

農商工連携により開発された新商品の販路開拓を応援する団体に助成します。

### ○募集期間 平成23年11月1日(火)～平成23年12月13日(火)

### ○事業に関するお問い合わせ先

(財)あきた企業活性化センター

経営革新担当 ☎018-860-5701

総合相談担当 ☎018-860-5610

## 強い組合・強い企業づくり

# 「11月は、連携組織強化月間です」

本会では、組合をはじめとする中小企業連携組織に対して、その設立から事業運営まで、さまざまな支援を行っています。

特に、毎年11月を連携組織強化月間と位置づけ、11月1日～30日まで「特別相談窓口」を設置します。中小企業組織の設立・運営についてのご相談は、是非本会へお問い合わせ下さい。

### ○お問い合わせ先

本部事業振興部:〒010-0923 秋田市旭北錦町1-47

☎018-863-8701

大館支所:〒017-0044 大館市御成町二丁目8番14号

☎0186-43-1644

横手支所:〒013-0021 横手市大町7番18号

☎0182-32-0891

# 第15回 中小企業団体ゴルフ大会開催



第15回中小企業団体ゴルフ大会を、10月5日(水)に、秋田市の「秋田椿台カントリークラブ」において開催しました。

【優勝者東海林正博氏】

本大会は、本会会員並びに関係機関相互の交流促進を目的に開催しており、当日は、天候にも恵まれ、全県から集まった44名の参加者が自慢の腕を競い合いました。

今年も多くの組合及び企業から協賛を頂き、プレーの結果、協同組合秋田印刷センターの東海林正博常務理事(株式会社東海林印刷代表取締役)が、ネット71.0で優勝しました。

また、プレー終了後の表彰式では、参加者同士がお互いの健闘を讃え合い、親睦を深めました。

【結果】	優 勝	東海林 正 博氏(協同組合秋田印刷センター)
	準優勝	大 嶋 秀 夫氏(秋田県葬祭業協同組合)
	第3位	森 田 真 澄氏(男鹿南秋生コンクリート協同組合)
	B G賞	森 田 真 澄氏 ベストグロス79(41、38)



## 組合ティールーム

### 秋建協同組合

理事長 加藤 憲 成 さん

#### ◎理事長としての抱負について

当組合は、現在、生コンクリートの共同購買事業を実施していますが、過去には、建設機械の貸出事業や鉄筋等の建設資材全般について共同購買事業を実施していました。

しかし、業態や流通の変化など世の中の流れに伴い、組合事業は、減少傾向にあります。

そのような状況の中でも、組合員の世代交代が進み、新たな取り組みに向けての体制が整っていることから、組合員と意見を出し合い、組合としてできることを模索していきます。まず、手始めとして、他県の組合との交流を考えています。

#### ◎業界からの要望について

東日本大震災後、太平洋側の復旧・復興に国の予算が重点配分されていますが、日本海側についても予算配分し、東北が一体となった整備が促進されるよう望みます。また、道路・構築物の整備については、地方にあった規模や方法で施工できる仕組みを望みます。

#### ◎心掛けていることについて

いつも心掛けていることは、「何にでも積極的にチャレンジすること・何でも試してみること」です。思い浮かんだことは、まずやってみる。やってみてダメなら、他のことを考えるというように、次の展開に向けたことを常に考えています。

#### ◎趣味について

心掛けていることと同じで、何でもやります。その中でも、特に、最近、家庭菜園に凝っています。菜園では、一般的な野菜から珍しい種類の野菜まで、幅広く栽培しています。今年の夏は、ゴーヤカーテンならぬミニメロン・ミニスイカカーテンを作りました。

